

川西図書通信

第2号 (3か月に1回程度発行)

発行日 : 平成 29 年 8 月 10 日
発行元 : 川西地区地域づくり協議会
発行者 : センター長 齋藤 利衛
☎・Fax : 0242-83-2601
E-mail : kawanishi-cc@nivo.jp

「1Q84」 村上春樹 著



BOOK 1 から BOOK 3 まで川西コミセンにあります。いわずと知れたノーベル文学賞が常にささやかれている巨匠の作品です。3冊の累計で約 600 万部売り上げています。これは新潮文庫で最も売られている夏目漱石の「こころ」が、累計 700 万部だということと比べてみると途方もない実績なわけです。

恋愛、ミステリー、SF、ハードボイルド…ジャンル分け不能の大長編。この夏あなたも挑戦してみませんか？

因みに私は青豆の大ファンです。

女流作家紹介

仁木悦子 (1928~1986)

1957 年 「猫は知っていた」で第 3 回江戸川乱歩賞受賞。松本清張と共にミステリーブームの火付け役となり、「日本のクリスティー」と称される。1981 年 「赤い猫」で日本推理作家協会賞短編賞受賞。当センターには 3 冊あります。

福島県出身の作家紹介

愛川 晶 (1957~)

福島市出身。1994 年「鮎川哲也賞」トリッキーな本格物が多い。最近は寄席を舞台にした落語や漫才ミステリーの評判がいい。彼の作品は当センターには 2 冊あります。

夏は「恐竜」の季節？

先日、ミニ集会で恐竜のお話をさせていただいたところ一部の方からかなりの反響がありました。というわけで、川西コミセンにある恐竜の本をご紹介します。

「恐龍はなぜ絶滅したか」

「いろいろ恐竜事典」

「恐竜のすべて」

「謎と不思議の生物史」

4 冊あります。情報は多少古いですが、基礎的なことは充分学べるかと思います。

ちなみに首長竜や翼竜は恐竜ではありません。えっ？ 違うんだ。



センター長おすすめの1冊

「天才」 石原慎太郎 著

石原にとって田中角栄は立場上政敵だった。石原曰く…、「外国の策略で未曾有の天才を葬り去る事は出来ない。政治に関わったものとしての責任でこれを記した」



芥川賞全集を ご寄贈いただきました

芥川賞とは、1935年、菊池寛によって友人の芥川龍之介の業績を記念して創設されました。純文学の新人で、300枚（約200ページ）未満の作品を対象に年2回選出されます。

第1回の受賞者は石川達三です。しかし、当時は全く話題にならず売り上げにつながることもしなかったといわれています。1957年石原慎太郎の「太陽の季節」が受賞すると「太陽族」という言葉が流行、社会現象になると芥川賞自体も注目されるようになりました。

というわけで、日本を代表する名作をお楽しみ下さい。尚、直木賞も同時期に創設されました。こちらは大衆文学が対象です。



日本古典文学全集も ご寄贈いただきました

この本には現代語訳がついています。古事記、源氏物語、枕草子、更級日記…。あら、高校の試験に出るものばかり。試験勉強の強い味方になりますね。残り少ない夏休み、しっかり勉強したい人は、勉強しましょう。

また、なつかしいなあと思う方もどうぞお借り下さい。



浮世絵三部作

美術好きの方のために、高橋克彦の浮世絵3部作をご紹介します。残念ながら川西コミセンの蔵書にはありません。

彼は推理小説、歴史小説、時代小説、SF、ホラー等幅広い分野で活躍する作家です。1993年大河ドラマとして放映された「炎立つ」の原作者でもあります。

「写楽殺人事件」 1983年
江戸川乱歩賞受賞。

たった10ヶ月に140枚の絵を残して消えた謎の絵師、写楽の実像に迫る。

「北斎殺人事件」 1986年
日本推理作家協会賞受賞

北斎は本当に幕府の隠密だったのか？それに絡んで殺人事件が起きる…。

「広重殺人事件」 1992年
3部作完結編

天童広重の謎を探るため山形の天童へ。美術商の思惑が絡みやがて悲しい結末へ。

